

ふれあい ひびきあい 学び食い  
かがやくだけのごキッズ



えだわんだより

横浜市立荏田東第一小学校

◆〒224-0006 横浜市都筑区荏田東三丁目5番1号

◆Tel…045-941-7630 Fax…045-942-9464

◆http://www.edu.citv.vokohama.io/sch/es/edahizashi/



「当たり前」の「有り難さ」

学校長 熊谷 潤平

10月28日、雲一つない澄んだ青空。校庭では、本校の体育的行事「スポーツフェスタ2021」を目前に控え、1年生が授業の中で演技の仕上げをしています。かわいらしい手足の動きの中に、ちゃんと巧みさも垣間見え、大したものだなあと感心します。見守る2年生からは自然と拍手が沸き起こりました。ほほえましい光景です。

一昨年までは、いわゆる運動会も、修学旅行も、宿泊学習も、実施できるのが「当たり前」でした。学校行事で保護者や来賓の方の入場制限をしなければならないなんて考えも及びませんでした。運動会なら、せいぜい「雨かな、晴れかな。雨なら順延かな。」ぐらいの心配で済んでいたのが、今や、「今年は実施可能か、中止か。」という重大な判断を迫られるのが「当たり前」となりました。市内において昨年度は、一切、保護者・地域の方を入れずに、全校も一堂に会することなく、学年やブロックごとの「発表会」形式で運動会の代替とした学校もありました。

本年度、「スポーツフェスタ2021」を、入れ替え制とはいえ各家庭2名まで保護者の方を招き、全校児童が一堂に会して同日同時刻に実施できることを本当に「有り難く」感じます。

休み時間に校庭を巡回していたら、2年生の女の子が声を掛けてきました。「校長先生、もしもさ、スポフェスできなかつたらさ、6年生、かわいそうだよな。だってさ、6年生、今年最後だからさ。」校庭の真ん中で、開閉会式の予行をしている6年生の姿を見て、何か思うところがあつたのかもしれない。私は、「そうだね。今年はスポーツフェスタ、できるからよかったねえ。」と返しました。女の子は、笑顔で「うん。」と答えてくれました。

運動会などの行事が開催できること。全校児童が一堂に会せること。保護者の方に子どもたちの頑張りを見ていただけること。頑張る健気な子どもたちが、日々ちゃんと学校に来ていること。安全な校舎が、安心できる学校が、ここにあること…。コロナ禍では、今まで「当たり前」だったことは、実は当たり前ではなく、「有り難い(あることが難しい)」ということに否が応でも気付かされます。だからこそ、今年、子どもたちの頑張りを、輝きを、成長を、眼前で実感できることに感謝し、幸せをしみじみ感じます。

当日に向け、多くの子はやる気いっぱい準備していますが、学校ですから、実は運動会そのものや競技・演技が得意な子、苦手な子、好きな子、嫌いな子、様々混在します。それでいいと思います。ですから、保護者の皆様には、様々な得意・不得意、好き・嫌いに関わらず、「精一杯あなたなりに全力を出しておいで。応援しているよ。」とお子さんを送り出していただけますよう、切に願います。

地域の皆様が、この学校便りをお読みいただける頃は、すでにスポーツフェスタは終了しているでしょうか。もし、そうだとすると、子どもたちの元気が、活気が、頑張りが、当日の歓声や風の便りで、地域の皆様に届いていてくれたなら幸いです。

本年度、子どもたちが考えたスポーツフェスタ2021のスローガンは、「団結～今年、えだわんが一つになる～」です。子どもたちがどこで、どのように、この「一つ」を体現するのか、この目で最後まで見届けたいと思います。「当たり前」の「有り難さ」を、じっくりとかみしめながら。



↑早朝、職員が校庭上に心を込めて引いたグリッド線の上で、演技する1年生と見守る2年生。